

コンピュータ理工学科 TOEIC スコアの取り扱いについて

コンピュータ理工学科 教育主任

コンピュータ理工学科では、学位授与方針に以下を掲げています。

3. 他者に正しく理解してもらうための論理的な文書での記述力と口頭での発表力をもち、それらを円滑に駆使してコミュニケーションすることができる。
5. 時代の変化に対応できるよう、最新の技術動向を考慮して、自律的・継続的に学習できる。

ここでいうコミュニケーションとは、国際社会におけるそれを含んでいます。そのため、これらの能力を身につけるための一環として、TOEIC (Test of English for International Communication) を利用しています。すなわち、皆さんが自律的に英語学習を行い、その成果として会得した国際的コミュニケーション能力を世界に通用する尺度で測ることにしています。その実効性を上げるために、必修科目である「コンピュータ理工学研修Ⅱ」の単位認定に関して、以下の条件を設けています。

以下の(1)、(2)のいずれかを満たすことを「コンピュータ理工学研修Ⅱ」の単位認定の必要条件の一つとします。

【コンピュータ理工学科の1年次に入学した学生の場合】

- (1) コンピュータ理工学科在籍中に受験したTOEICテスト1回のスコアが600点以上であること。
- (2) コンピュータ理工学科在籍中に受験したTOEICテスト複数回のスコアの合算合計が1,350点以上であること。ただし、TOEICテスト1回当たりのスコアが300点以上の場合のみに合算できる(300点未満の場合は合算できない)。

【コンピュータ理工学科の3年次に編入学した学生の場合】

- (1) コンピュータ理工学科在籍中に受験したTOEICテスト1回のスコアが600点以上であること。
- (2) コンピュータ理工学科在籍中に受験したTOEICテスト複数回のスコアの合算合計が800点以上であること。ただし、TOEICテスト1回当たりのスコアが300点以上の場合のみに合算できる(300点未満の場合は合算できない)。

注:「上場企業における英語活用実態調査」報告書(2013年)によると、企業が期待するTOEICスコアは以下の通りです:新入社員 465~670, 技術部門 520~715, 国際部門 660~840

条件の判定について

「コンピュータ理工学研修Ⅱ(後期)」の場合、履修する年度の7月にTOEICスコア(またはその合算)を受領し、上記の条件を満たしたか否かを判定します。

7月の段階で条件を満たさなかった学生は、条件を満たすまで再度TOEICテストを受験し、スコアが返却され次第速やかにそれを提出することとします。スコアの最終提出締め切りは、その年度の後期成績登録締切日(例年2月13日前後)とし、この日までに結果が返却されるTOEICテストで上記の条件が満たされない場合、「コンピュータ理工学研修Ⅱ」の単位は認定されません。

TOEICの学習について

英語力向上、特にTOEICスコア向上に向けて勉強するために、大学が購入し提供するオンライン教材ALC2を活用しましょう。また、書店等で手に入る各種のTOEIC学習用のテキスト・参考書、模擬テスト問題集等を使い、自ら積極的に勉強してください。